富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

1996年1月7日の大流星

著者	本郷 喜代則, 下田 力, 布村 克志
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	20
ページ	115
発行年	1997-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=678

短　　報

1996年1月7日の大流星 *

本郷喜代則
〒939-03富山県小杉町戸破若葉町1272

司馬　康生
日本流星研究会
〒954-01神戸市須磨区南落合1-17-8-201

下田　力
日本流星研究会
〒390-11長野県東筑摩郡朝日村針尾178

布村　克志
富山市科学文化センター
〒939富山県富山市西中野町1-8-31

1996年1月7日，茨城県つくば市に隕石が落下し，「つくば隕石」と命名された。その落下前に隕石が大気中を飛行している様子を本郷が写真撮影したので報告する。落下前の隕石が写真に捉えられたことは日本で初めてである。

撮影日時　1996年1月7日
撮影時間　16時20分頃
撮影場所　富山県中新川郡上市町女川付近
　　東経：137度21分30秒
　　北緯：36度40分34秒
　　標高：36m
撮影機材　カメラ　：ペンタックス67
　　レンズ　：105mm
　　露　出　：1/60 s
　　フィルム感度：　ISO　100

今まで，日本では45個の隕石の落下が知られており，その中には落下が目撃されたものはある。隕石落下は突発的なものであり写真等で記録されたことはなかったが，当日は快晴に恵まれたこともあり，「つくば隕石」の落下前の姿を写真に捉えることが出来た。

司馬，下田はこの写真から火球末端の方位角を東から南へ21.1度，高度角を8.53度と測定し，ほかの写真，目撃等から総合してその位置を東経139.795°　北緯35.897°，高度39.4km，突入角を34.2°と計算した(伊藤ほか，1996)。

文　献

伊藤大雄・司馬康生・下田力・福井敬一，1996.「つくば隕石－その一部始終と実経路－」.第37回きときと流星会議資料集(きときと流星会議実行委員会編)：89-102.



1996年1月7日の大流星「つくば隕石」

＊富山市科学文化センター研究業績第190号